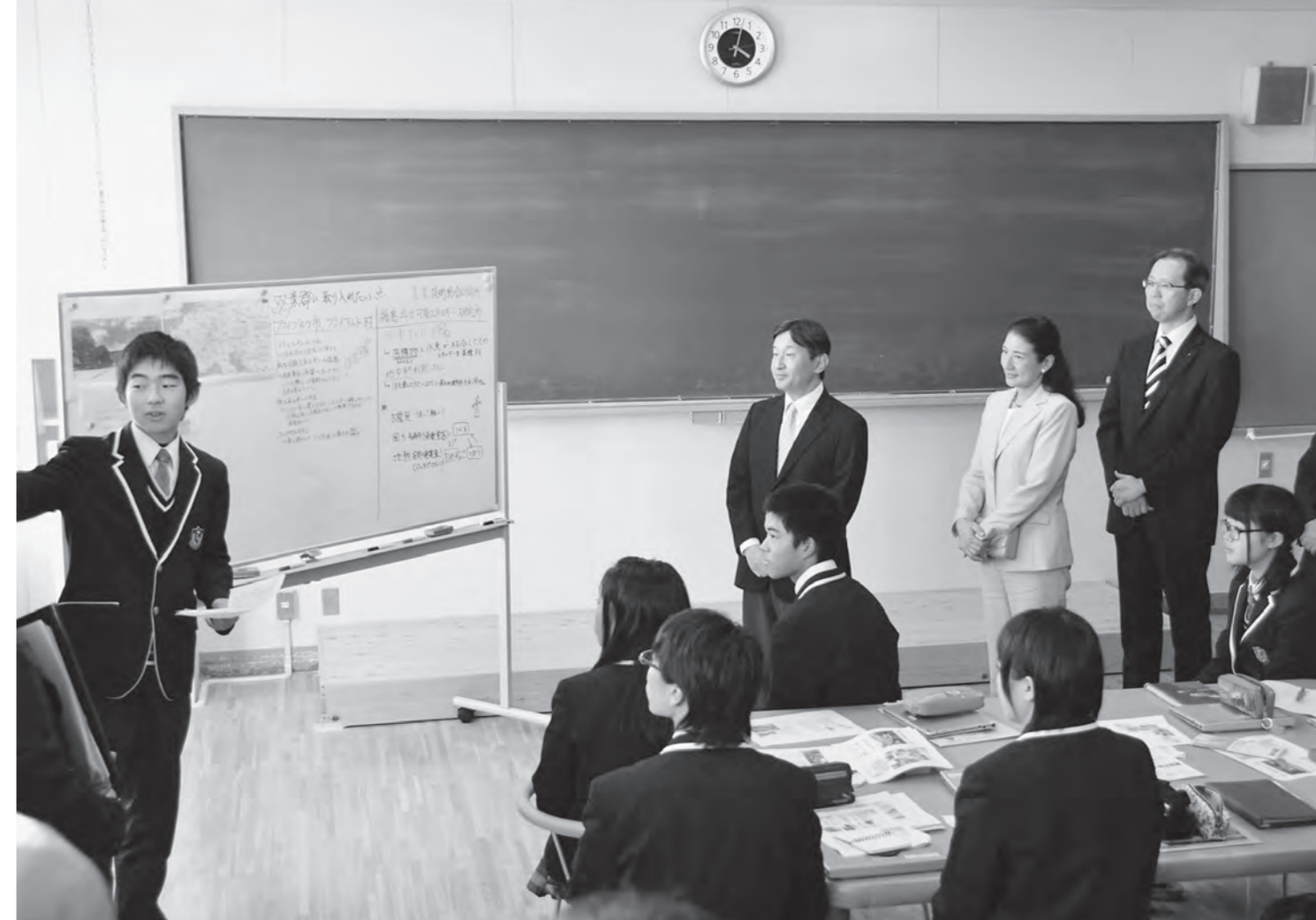




ご懇談される皇太子同妃両殿下



授業をご視察される皇太子同妃両殿下



生徒たちのご懇談の様子



授業をご視察される様子



両殿下を奉迎する町民



お召車をお迎えする町民

ふたば未来学園高等学校をご視察 皇太子同妃両殿下下行啓



10月8日（木）、皇太子同妃両殿下が広野町をご訪問され、今年4月に開校したふたば未来学園高等学校をご視察になり、約3,000人の町民が沿道で両殿下を奉迎しました。

両殿下は、「2030年に直面する地域課題解決に向けた取り組み」をテーマにした授業をご視察され、出席した生徒が「再生可能エネルギーの活用を進めるべき」などと発表すると、両殿下はほほ笑みながらお聞きになりました。

そのうち生徒3人および教諭1人とご懇談されました。皇太子殿下は、生徒たちの熱心な学校生活についてお言葉を述べられ、「お体に気を付けて」とねぎらいのお言葉をおかけになりました。妃殿下は、生徒たちが9月の国際フォーラム『被災地・広野町から考える』において地域の課題を英語劇で表現したことについて、お褒めの言葉を述べられました。

授業に出席した生徒の1人は、「しっかり目を見て聞いてくださったので、自分の思いを話すことができ、自信が持てました」と感想を述べました。また、懇談した生徒たちは、「とても穏やかで、心配して下さっているのがよく分かりました」、「常に笑顔でお話され、優しいお人柄を感じました」、「一生に一度あるかないかの貴重な経験をすることができました」とみな感激した様子でした。

皇太子殿下は高等学校をおたちになる時に、町民の温かな奉迎など、町長にお礼のお言葉を述べられ、また、後日、「今年、町内で収穫した特別栽培米（コシヒカリ）を皇太子ご一家がおいしくお召し上がりになった」との報道がありました。